

**あいあいクラブ**  
**令和7年度 事業者向け放課後等デイサービス自己評価表**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・音の過敏な方にはイヤーマフ対応など促して、配慮している。 ・面積などの基準は満たしている。 ・場面分けや運動動線を考慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			規定以上に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			利用者の状況に応じて対応している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			活動前のミーティングや終了後の振り返りを通し、職員間で情報を共有し、全職員が参加している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートを実施し、その結果を基に改善につながるよう工夫している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページ上に公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年2回の全体研修に加え、WEB研修が導入された。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			半年に1回の間隔評価表をもとに評価を行い、計画を見直ししている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			当日の利用者の状況に応じて活動プログラムを検討・活動している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の成長を鑑みながら、日々活動を立案している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各利用者の課題に応じて活動を組み、見える化して職員間で共有している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			放課後の活動は打合せできるが、長期休み時は職員の出勤時間が異なり、打ち合わせが難しい。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、行っている。勤務時間が異なる職員には、打合せ時に共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日活動記録を取っている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回、振り返りを行い、個別支援計画を作成している。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			外出時の他児との交流や季節のお出かけなど、ガイドラインの基本活動を合わせて支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要時には当該児に精通した職員が参画するようにして参加している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学校とは連絡を密に取り合い、利用者の日々の様子を共有している。 ・学校からの緊急時の連絡が取れるよう、登録している。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケア児は現在利用していない。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			未就学児が利用始める前は見学に行き、様子を確認するなど行っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要時には計画や情報などを提供している。
	②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			主催の研修に参加している。
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	児童クラブとの交流は行っていないが、公園や買い物などの外出時に障がいのない子との交流がある。
	②⑦ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			会議には毎回参加している。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際や連絡帳にて日頃の様子を共有し、面談の際に保護者のお話を聞いて、状況や課題を一緒に考えている。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングは行っていないが、障がい特性の理解を促したり、成長時の様子などをあらかじめ伝えるよう努めている。
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にすべて説明している。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご家庭の状況を伝えやすい関係性を築き、悩みなどを相談された際には、助言や支援方法を検討している。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に1度家族懇談会を開催している。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けており、体制を整えている。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に数回、法人の広報紙を発行し、法人の様子をお伝えしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			職員全てに取り扱いには注意するよう伝えている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の様子を汲み取り、絵カードやサインなど用いて、伝わる方法を模索している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の場所や職員体制から、イベントを開催することは難しいが、近隣の方とはあいさつするなど、良い関係を保つ努力をしている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時や感染症の対応マニュアルはあるが、防犯のマニュアルはない。出入り口が1カ所しかないため、難しい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な言川練を行っているか	○			火災避難訓練・地震避難訓練を年に数回開催している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止についての全体研修やWEB研修の受講などの機会を設けている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			半年に1度面談の際に、保護者(該当児)の身体拘束の可能性を説明し、承諾を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのある場合、保護者の方から聞き取りをして対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			誰でも見えるところに事例ファイルを保管したり、会議の際に情報共有している。
	④⑭	感染防止への取組みについて、職員、子ども・保護者に周知しているか	○			消毒は徹底して行っている。法人からのお知らせとして、保護者に周知している。
感染予防	④⑮	感染防止対策は、適切に行われているか	○			検温・消毒・換気を行い、感染症ごとの対応を職員間で共有している。